砺波カイニョ倶楽部会報　第７９号

平成２７年６月発行　発行者　砺波カイニョ倶楽部　代表幹事　出　村　忍
事務局　富山県砺波市表町　１４－１０　電話　０７６３－３３－６５８８　天野一男建築工房内

＊＊＊ 総会・出村忍代表幹事で活動推進！＊＊＊

５月３０日（土）午後、旧中島家（チューリップ公園内）で囲炉裏を囲み、18 名が参加して総会を開いた。

まず、柏樹代表幹事が挨拶し（別掲）、平成 26 年度の活動報告・会計報告・監査報告を行った後、役員改選を行い代表幹事に出村忍氏を選出し、松田憲氏を新しく幹事に加え、次の体制で２年間活動することを全員で確認した。

○新役員　代表幹事：出村　忍
幹　　事：柏樹　直樹・小幡　良和・堀　一浩・松田　憲・新川（旧姓：金岡）奈穂子
会　　計：高畑　邦男
監　　事：中田　ちづ子
事 務 局：天野　一男・大甲　梨絵

出村代表幹事より、「地域の期待にも応えられる会として活動しよう。微力だが頑張りますので御協力ください」と挨拶があり、引き続いて出村代表幹事の進行で、平成 27 年度の活動が提案された。

主な内容
＊滑川市のカイニョと博物館の見学会
＊砺波地区カイニョ見学会
＊カイニョの掃除
＊講座・実習・植樹　　など

もっと斬新なことも企画し、新会員を募ることも話され、27 年度の活動を確認しあった。

その他に、田園空間博物館事業の総会の報告がなされた。

総会終了後に、「あしたの森といのち」という演題で、元北日本新聞社常務の中島利明氏のお話を聞いた。木や森の姿と息子さんの存在をつなげ、「気」があり、通ずるところがあるとの深い体験的思想と、毎日をどう生きるか、もっとカイニョに近づき、ヒントを得る道の大事さを映像も加え話され、沢山心に響くものをいただいた。翌日、北日本新聞と富山新聞が報道した。

〈柏樹代表幹事の冒頭挨拶〉
＊発足して１９年目を迎えた。
カイニョを元気にし、カイニョと係わる・人を励ます人づくりの会として、楽しくやろうという会で活動してきた。
＊残した結果のいくつか
ー①田園空間博物館構想への参加（平成１１年から１０年間）・②16 号台風の時に、「これからのカイニョ」と題し、シンポジウムを開催した（平成１６年）・③植樹の提案と実行・④全国屋敷林フォーラム（平成 22 年）・⑤「カイニョへの思い」として、カイニョづくりの提案（平成 23 年）
＊カイニョは環境・景観の視点で注目されてきた。益々、カイニョを維持する個人の姿勢が問われる。個人と全体の協力、共同のあり方が問われる。

講演「あしたの森といのち」

元北日本新聞社常務コラムニスト　中 島　利 明氏

○住んでいるのは街の中だが、緑に関心を持ち里山との付き合いを今も続けている。
サイクリング・ハイキング・歩くスキー・薪ストーブ等で関係している。

○現役時代の昭和５５年に柏樹さんと出会い、「あしたの森」連載取材班に加わり、樹木・森林・山に大きく近づいた。
一年間の集中した取材活動で、砺波散居村・緑の知恵・ヨーロッパ取材等、非常にのびのびと取組んだ。

○「天地人」の執筆に加わってから、息子（元樹氏）が突然「遷延性意識障害」にかかり、後半人生の大きな部分をその共同生活にとられている。植物は「融通無碍」の体をもっている。この中で、あしたの森の取材経験やナチュラリストの人たちとの交流が大きな力になり、財産となっている。

○息子との生活と変化ー「植物人間」・植物状態のまま生きている患者。
それが、何年か経って息子の意識が少し戻った。その第一に、表明してくれたことは、「ずっと意識があった。伝えることが出来なかった」と。ー息子を通しての経験から「諦めない」ことを学んだ。
そして、今は、筆談・指談・母と描く絵・犬と暮す・コミュニケーションを磨く、まさに、医学・科学の限界に挑戦しているような毎日。

○科学では掴めない脳の働きがある。
脳に全ての思考指示機能はあるが、加え、それぞれの節目・関節に脳を助ける機能がある。体は、総合的なもの。「気配」「気」が存在する。

○　「一切衆生悉有仏性」ー植物にも心がある。
○　「大切なものは目にみえない」
「気の存在」ー天地万物を形成し、人の活動も全て「気」から生ずる。

○　カイニョには、木の霊が沢山ある一想像力を働かせ、力を注ぐと応えてくれる。一歩も動かずに生き続ける木の知恵はすごいものだ。

○　コラムには、人生の喜怒哀楽・生き方が求められ、問われる。

総会の後の、講演会

平成27年度　**総会資料**（5月30日開催）

砺波カイニョ倶楽部

平成26年5月1日から平成27年4月30日

1）平成26年度事業報告

平成26年

・5月24日　総会と講演会　　講演会　演題「出町とまちづくり」16名　近江俊郎先生

・7月19日　南砺のカイニョ（山本宅）・（不吹堂級長戸辺神社）の見学　22名

・10月11日　立山町のカイニョ（小川宅）と立山博物館見学　26名

平成27年

・3月21日　安曇野　屋敷林フォーラム・2015　　柏樹代表ほか3名

・4月4日　カイニョの掃除（佐々木邸）16名

2）平成26年度決算報告

■ 収入

項目	金額	備考
会費	144，000	
寄付	25，000	小泉様2万・近江様5千
利息	29	県信出町支店
繰越金	190，979	前年度より
計	360、008	

■ 支出

項目	金額	備考
総会費	10、040	講演謝礼・お茶代
行事費	30、462	南砺カイニョ見学会　15、192 立山町カイニョ・博物館見学　12、180 カイニョ掃除（佐々木邸）　3、090
補助金	15、000	安曇野フォーラム参加　3名分
通信費	53、344	案内・会報等
雑費	33、815	封筒・コピー・HP登録
事務費	10、000	天野、6　金岡、2　大甲、2
計	152、661	

収入－支出　360、008－152、661　＝　207、347（繰り越し）

3）会計監査報告

平成27年 5 月 8 日に会計監査をしたところ、適切に処理されていた事をご報告致します

監事　杉森孝一　印

4）役員改選（案）

代表幹事　出村　忍

幹　事　小幡良和．堀　一浩．金岡奈穂子．松田　憲．柏樹直樹

会　計　高畑邦男（幹事兼務）

事務局　天野一男．大甲りえ

監　事　中田ちづ子

なお、前代表幹事の柏樹氏に役員に残って頂くことを、特にお願いいたしました

5）平成27年度事業計画（案）

基本テーマ「市民と共にカイニョに学ぼう」　住民へ行事参加を募集する

1. 総会　（平成27年5月30日・中島家にて）
2. カイニョ等と博物館見学（滑川地区）　7月中旬
   （立山美女平の立山杉見学）も検討する
3. 砺波地区カイニョ見学会　10月中旬
4. 樹木の手入れの実習　（ミュージアムの樹木などを活用）
5. カイニョの掃除　（住民へ掃除希望宅を募集）
6. カイニョとのつき合い講座　（中島家のイロリを囲んで）
7. 植樹

●行事に参加出来ない方もいらっしゃいますが、カイニョに興味を持って頂くことに深く感謝申し上げます

事務局　天野　0763－33－6588　090－9444－8655

滑川市の屋敷林見学会　開催要綱

2015H270718

1　趣　旨　世界に誇るとなみ野の散居村と屋敷林。ほかの地域の屋敷林を見学してその地域の特性と住む人々の知恵に学び、比較し、再発見する機会とする。
また、参加者同士の親睦を深める。

2　と　き　平成２７年７月１８日(土)　雨天決行

集合・出発 am８：３０　散居村ミュージアム伝統館駐車場　帰着 pm４：３０(予定)

3　見学地　滑川市内の屋敷林

中屋　敏子宅　＜浜加積地区＞　滑川市四ツ谷２０５

山下　徳樹宅　＜早月加積地区＞　滑川市追分２１８６

松井　信義宅　＜中加積地区＞　滑川市赤浜５５０

滑川市立博物館　滑川市開６７６　０７６－４７４－９２００

4　参加費　＜当日集金＞会員；4,000 円　非会員；4,500 円　小中学生；2,000 円

※ 参加費に含むもの；バス代、傷害保険(レクリエーション)、見学先入館料等、バス中のお茶、参加者には後日写真等を送ります。

5　昼　食　各自で、ご持参ください。(食事場所は、市民交流プラザの予定です。)

6　交　通　貸し切りバスを使用します。(定員；２０人)

7　申し込みは、7月１４日(火)までにお願いします。ただし、バスの定員になり次第、締め切らせていただきます。どうぞ、ご家族・友人・知人をお誘いください。

8　申込先　主催;**砺波カイニョ倶楽部　電話＆FAX:0763-33-6588**

砺波市表町 14-10　天野事務局長あて　(FAX は、一人1枚又は別紙でお願いします。)

9　問い合わせは　…天野一男事務局長　０９０－９４４４－８６５５

出村 忍 代表幹事　０９０－２０３５－９１４５

～～～～～～～～～～～～～～～　**申　込　書**　～～～～～～～～～～～～～～～

「滑川市の屋敷林見学会」参加申込書　Fax(0763)33-6588　平成27年　月　日

フリガナ		生年月日	昭和・平成　年　月　日
お名前			*※傷害保険加入のため、必ず記入願います。*
住　所	〒　－ 市		
電話番号			会員　・　非会員